

CUADRO DE HONOR COTIF 2012



Última actualización el Sábado, 25 de Agosto de 2012 09:17

Escrito por Administrator

Viernes, 24 de Agosto de 2012 10:46

La selección Nacional de Argentina se proclama campeona de la XXIX edición del COTIF SUB 20

1r Clasificado: **Sel. Nal. Argentina**

2º Clasificado: **Sel. Nal. España**

3r Clasificado: **Sel. Nal. Korea**

4º Clasificado: **Sel. Nal. Turquía**



a continuación puede ver las fotografías premios individuales del Torneo Sub-20, las categorías "promesas tiene su propio cuadro de honor en sus respectivos apartados

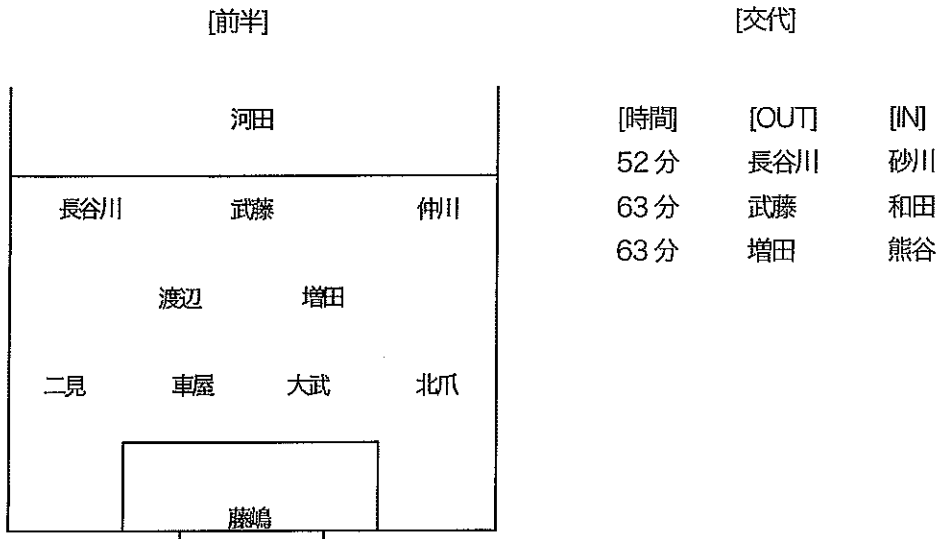
→ [Leer más: CUADRO DE HONOR COTIF 2012](#)

日 時：2012年8月17日（金曜日） 20:15 Kick Off
 場 所：ARCS estadi municipal de futbol スタジアム

■ 試合結果 ■
 全日本大学選抜 2 $\left(\begin{array}{c} 2-0 \\ 0-1 \end{array} \right)$ 1 スペイン代表

■ 得 点 ■
 [時間] [チーム] [得点者] [アシスト]
 2分 全日本大学選抜 河田 渡辺
 37分 全日本大学選抜 河田 武藤
 54分 スペイン代表 ALVARO IKER

■ 布 陣 ■



■ 戦 評 ■

スペインで開催された第29回アルクディア国際ユース大会（U-20）の予選リーグ第1戦は、スペイン代表との対戦となった。スペイン代表のシステムは、フル代表と同じく1-4-3-3。対する全日本のシステムは、1-4-2-3-1で試合依に臨んだ。試合が動いたのは、試合開始早々の2分、素早い攻守の切り替えから相手陣内でボールを奪い、武藤、渡辺の中央突破から抜け出した河田がゴールを決め先制する。前半スペイン代表の、ビルドアップからピッチを広く使いサイドと中央から攻撃を仕掛けるスタイルに対して、全日本は「攻撃から連動した守備」、「セットした守備」をベースに、ボールを奪い攻撃につなげて行く。前半終了間際の37分、前線からのプレッシングにより中盤の右サイドでボールを奪い、パスを受けた武藤からのスルーパスに抜け出した河田が再びゴールを決め2-0とし前半を終了する。後半に入っても高い集中力を保った全日本はスペイン代表と互角の展開であったが、後半10分、一瞬の隙を突かれ、右サイドのクロスからFW7に得点を許し、1点差に詰め寄られる。その後は同点を狙うスペイン代表がボールを支配し全日本のゴールに迫るも、連動したディフェンスとGK藤嶋を中心に守り抜き、このままタイムアップ。2-1で勝利した全日本は、予選リーグ突破に向けて貴重な勝ち点3を得た。（文責：松本直也）

日 時：2012年8月19日（日曜日） 20:15 Kick Off

場 所：ARCS estadi municipal de futbol スタジアム

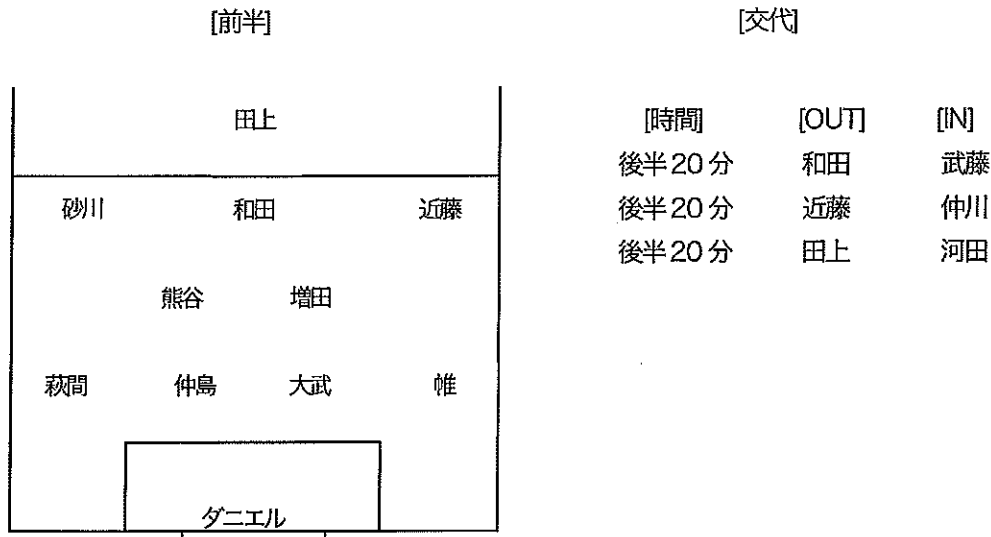
■ 試合結果 ■

全日本大学選抜 0 $\left(\begin{array}{c} 0-1 \\ 0-1 \end{array} \right)$ 2 アルゼンチン代表

■ 得 点 ■

[時間]	[チーム]	[得点者]	[アシスト]
前半15分	アルゼンチン代表	2番	10番
後半2分	アルゼンチン代表	20番	8番

■ 布 陣 ■



■ 戦 評 ■

スペインのバルンシア市で開催された第29回アルクディア国際ユース大会（U-20）の予選リーグ第2戦は、アルゼンチン代表との対戦となった。両チーム共に第1戦目の先発メンバーから、アルゼンチン代表は5名、全日本選抜は8名の選手を入れ替えた。アルゼンチン代表のシステムは、1-4-3-3 トップ下の10番を中心としたチーム。対する全日本のシステムは、第1戦目と同じく1-4-2-3-1で試合依に臨んだが、先制したのはアルゼンチン代表であった。前半の15分、全日本のペナルティボックスの15m前方の左サイド付近で相手10番の左足のフリーキックをFW20の頭に触られ、GKダニエルがセイビングしたがゴール前にこぼれたボールを相手2番にシュートを許し先制された。素早い攻守の切り替えから相手陣内でボールを奪い返しその後のプレーで得点を狙うことをゲームのテーマとして考えていた全日本だが、逆に相手の早くて厳しいプレッシャーに苦しみながらの展開だった。

後半開始2分、左サイドに出されたミドルパスに対しCBの仲島が入れ替われそのまま相手8番に持ち込まれてペナルティボックス左サイドからのクロスでFW20番にヘットシュートを許してしまい2点差となった。後半に入っても厳しい流れは変わらなかった。流れの変化を求めて後半20分に攻撃の3人の選手を交代したが1点も奪えず試合は終了。次の第3戦目は、決勝トーナメント進出にかけた大事な試合となった。

（文責：イ ウヨン）

日 時：2012年8月21日（火曜日） 22:30 Kick Off

場 所：ARCS estadio municipal de futbol スタジアム

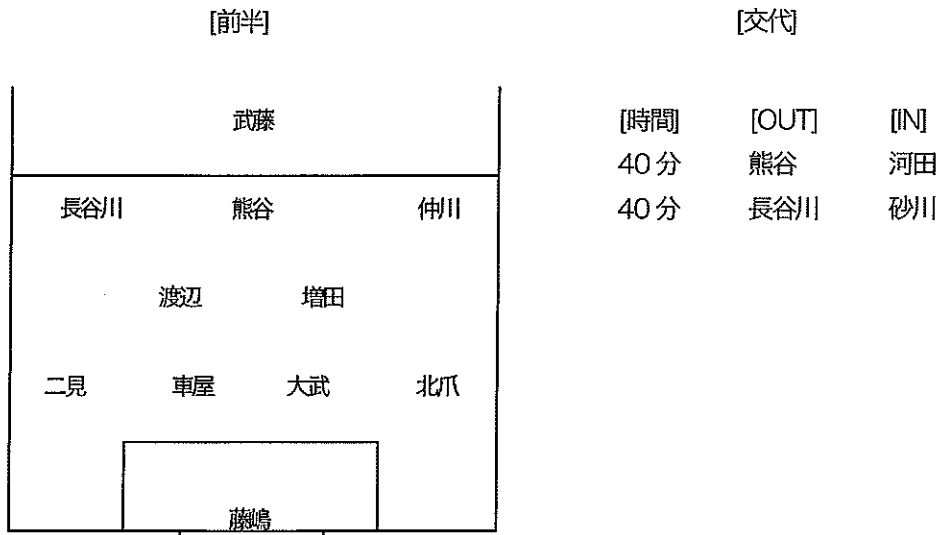
■ 試合結果 ■

全日本大学選抜 1 $\left(\begin{array}{c} 0-1 \\ 1-2 \end{array} \right)$ 3 サウジアラビア代表

■ 得 点 ■

[時間]	[チーム]	[得点者]	[アシスト]
14分	サウジアラビア代表	ALSHEHRI	ALZUBUDI
46分	サウジアラビア代表	ALSHEHRI	ALZUBUDI
49分	全日本学生選抜	大武	渡辺
56分	サウジアラビア代表	ASIRI	ALNAKHLI

■ 布 陣 ■



■ 戦 評 ■

決勝トーナメント進出を懸けた予選リーグ第3戦は、サウジアラビア代表との対戦となった。決勝トーナメントに進出するためには4点差以上での勝利が必要であった。サウジアラビア代表のシステムは、1-4-2-3-1。堅守速攻を得意とするチームで2列目のMF⑩を起点にスピードのある左MF⑦の突破から再三全日本のゴールに迫る。立ち上がり、全日本も熊谷、武藤らがPA内で決定的なチャンスを得るが得点することが出来ずリズムをつかめない。そして、14分左サイドからDF13のドリブル突破を許し、最後はFW17に先制される。早めに同点に追いつきたい全日本であったが、ボールを動かすものの効果的な縦パスが入らず、相手の守備ブロックを崩すことができない。そして、後半立ち上がりの46分左サイドDF13のクロスから走り込んだFW17にヘディングシュートを決められ2点差となる。反撃の糸口をつかみたい全日本は49分渡辺のFKから大武がヘディングシュートを決め1点差に詰め寄る。しかし、56分スルーパスに抜け出したMF10に突破を許し3点目を決められ、万事休す。決勝トーナメント進出の可能性もあったが、サウジアラビアに敗れたことによりグループリーグ最下位で大会を終えた。 (文責：松本直也)